

しずおか Shizuoka Prefectural Newsletter
県民だより
防災特集

ふじのくに 防災だより

保存版

令和6年能登半島地震は、新年早々、私たちに阪神・淡路大震災や東日本大震災など過去の大震災の記憶をよみがえらせる大きな衝撃を与えました。

静岡県では、南海トラフや相模トラフを震源とする大地震の可能性が長年指摘されていますが、地震や津波、土砂災害は、ある日突然襲ってきます。霊峰富士を望む温暖な静岡県に、これからも安心して住み続けるために、わたしたちはどのようなことに注意していけばよいのでしょうか。

「防災」とは、災害による被害を最小限にするために事前に準備すること、「備えあれば憂いなし」です。発災当初は、広い地域で混乱するため、行政の支援は行き届きません。

「自助」(自分の命は自分で守る)、「共助」(皆で助け合う)がとても大切なのです。



令和6年能登半島地震

令和6年元日の16時10分に発生した能登半島地震では、最大震度7の激しい揺れで多くの家屋が倒壊、数分後に津波が沿岸部に到達、公共インフラも大きく損壊し、輪島市では大規模な火災が発生しました。

240人を超える方が犠牲となり、約1300人が負傷、10万棟を超える建物被害もあり、いまだに自宅に戻れず避難生活をされている方も数多くおられます。(2月20日現在)

また、半島地域での地理的要因が影響し、限られた道路網が寸断し、多くの孤立集落が発生、初動の救出救助や被災者支援、電気・水道・通信などライフラインの復旧に時間がかかるなど困難な状況となりました。

さらに、高齢化率の高い地域で、厳冬期の長期におよぶ避難生活は、被災者の健康を脅かしています。



航空写真の出典：海上保安庁ホームページを加工して作成
https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN9/tori-naru/ishikawa_west/11_kuroshima-gyoko.htm

▲隆起し使えなくなった黒島漁港(輪島市門前町)



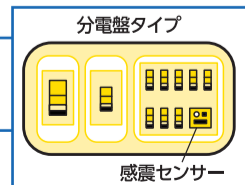
- ◆発生日時・場所・規模 / 令和6年1月1日16時10分・石川県能登地方・マグニチュード7.6
- ◆各地の震度 / [震度7]輪島市、志賀町 [震度6強]七尾市、珠洲市、穴水町、能登町
- ◆被害(2月20日現在) / 死者241人、重軽傷者1282人



私たちがこれから備えるべきこと



| 項目 | 対応 |
|---------|---|
| 避難行動の確認 | ①自分の避難行動を示した「わたしの避難計画」を作成 ②防災訓練などで、津波避難タワーや裏山などへの実際の避難経路や所要時間などを確認 |
| 住宅の安全対策 | ①自宅の耐震性能の確認→昭和56年以前に建てた木造住宅は耐震診断、耐震補強または防災ベッドなどの導入 ②家具・家電などの転倒防止 |
| 火災予防対策 | ①消火器の準備、感震ブレーカー(揺れると自動で電気を遮断する装置)の取り付け ②発災後に火元を確認し、電気のブレーカーを切る |
| 家庭内備蓄 | ①7日以上飲料水、食料と災害用のトイレをセットで備蓄 ②医薬品やバッテリーなど必要な物資の確保 |



静岡県 耐震ナビ 検索





みんなで防災！未来へつなぐ静岡の力



命を守る第一歩「わたしの避難計画」を作りましょう！

3つのポイントを押さえて、もしもの時に命を守る

- ① **どんな災害リスクが身の回りにあるか確認しよう！**
地震・津波だけでなく、河川氾濫や、土砂災害も忘れずに。自宅にいるときに災害に遭遇するとは限りません。学校や勤務先などのハザードマップも確認しましょう。
- ② **災害が発生した場合、「いつ」避難すればよいか確認しよう！**
地震と台風では、避難のタイミングが違います。
- ③ **災害の種別ごとに、「どこへ」避難すればよいか確認しよう！**
災害の種別により、指定緊急避難場所(※)などの避難先が変わることもあります。

※ 指定緊急避難場所…命を守るために緊急的に避難する場所で、災害種別毎に市町が指定した場所



「わたしの避難計画」

沼津市第三地区版
(内容は地域で異なり、また配布されていない地域もあります)

～作成ガイドで確認したことをメモしておこう～

大雨の時の「わたしの避難計画」

河川氾濫 土砂災害

避難のタイミング

避難先

巨大地震の時の「わたしの避難計画」

自宅に津波が来る地域

自宅に津波が来ない地域

避難のタイミング

避難先

自由記載欄(持ち出し品や、家族や親戚の電話番号など)

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！

災害のリスクや、正しい避難方法は、住んでいる地域、家族構成などによって一人一人違います。「どのタイミング」で「どこに」避難するかを、「わたしの避難計画」に書いておくことで、いざというときに慌てずに避難することができます。作成した計画は玄関のドアや冷蔵庫など、目につくところに貼っておきましょう！



WEBでも作成できます **わたしの避難計画** [検索](#)

3.11を忘れない…後悔先に立たず

東日本大震災

- ◆発生日時・場所・規模 / 平成23年3月11日14時46分・三陸沖・マグニチュード9.0
- ◆各地の震度 / [震度7]宮城県栗原市 [震度6強]仙台市他
- ◆被害 / 死者19765人、行方不明者2553人 (消防庁 令和5年3月1日)



▲当日の避難の様子
出典:いわて震災津波アーカイブ / 提供者:若手県総務部総合防災室



「災害が今日来る」と思って防災に取り組んでいれば、もっと出来たことがあったと思います。周りの人々を大事にすることも防災に繋がると思うので、後悔しないように過ごしてほしいです。

▲震災当時は金石東中学3年生で、現在は東日本大震災語り部として活動されている菊地のどかさ

金石東中学校・鶴住居小学校(若手県)の生徒570人が無事に避難できた背景には、防災に力を入れてきた地域の人たちや、身をもって体験し考えさせる防災教育に取り組んだ先生方のご努力がありました。

その他にも、被災を経験した方のさまざまな体験談を確認できます。

内閣府 一日前プロジェクト [検索](#)

避難生活は日頃の準備と助け合いが大切です！

避難所生活について考えてみよう

被災により自宅に住めなくなった方は、指定避難所(※)や地域の集会場などで、避難生活を行います。障害のある方、乳幼児、ペット連れの方、旅行や出張中の方、中には家族が亡くなった方や行方不明となっている方もいるかもしれません。自宅と違い、避難所での生活はさまざまな困難があります。少しでも良い生活環境となるようにみんなで協力することが必要です。

※ 指定避難所…避難者が一定期間滞在(生活)する施設として、市町が指定した施設

トイレが汚い！
感染症が怖い！

生活空間を共にする集団生活では、手指消毒の徹底、清潔なトイレ、段ボールベッドの利用などにより感染症を防ぎ、少しでも快適な環境を整えることが大切です。

先が見通せず、不安...

ふさぎ込んでしまいがちな避難所生活ですが、みんなでラジオ体操をする、可能な範囲で歩くなどにより、エコノミックラス症候群や身体機能の低下を防ぎましょう。

避難所運営の主役は皆さん
避難者同士で話し合い、助け合って避難所運営ができるように日頃から訓練に参加して備えておきましょう。能登半島地震でも避難者が炊き出しやトイレ掃除を行っています。特定の人に負担が集中しないようにみんなで協力し合うことが必要です。

避難所運営マニュアルで避難所運営を確認しましょう！

「避難所運営マニュアル」は、避難所運営に関わる平時の備えや、災害時の避難所運営のポイントを避難所運営側の立場からまとめたものです。マニュアルを参考に、関係者と避難所運営に関する話し合いやレイアウトの検討など事前の準備をし、避難所運営訓練を実施してみましょう！

令和6年2月改定版はこちらから [静岡県 避難所運営マニュアル](#) [検索](#)



さまざまな避難生活にも対応できるよう準備しましょう

自宅で避難する場合の留意点

住まいが軽微な被害で安全性に問題がない場合でも、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まり、支援物資が届くまでに相当な時間がかかることが予想されます。7日分以上の飲料水、食料、災害用のトイレをセットで備蓄しましょう。

必要な備蓄(1人分)

| | | | | | |
|-----|-----------|-----|-----------|-----|------------|
| 飲料水 | 3L×7日 21L | 食料品 | 3食×7日 21食 | トイレ | 5回×7日 35回分 |
|-----|-----------|-----|-----------|-----|------------|

これらを家族の人数分準備しましょう



その他の避難生活(縁故避難・車中泊避難)

避難には、親戚、知人宅などで生活する縁故避難や、車内で生活をする車中泊避難もあります。被災後も安否の確認ができ、さまざまな支援が受けられるよう、自分の居場所を地域の自主防災組織や市町役場に伝えるようにしましょう。

避難生活の手引きで避難生活をイメージしよう！

「避難生活の手引き」は、平時からの準備～避難生活～生活再建までのポイントを住民(被災者)の立場でまとめたものです。手引きを参考に、避難生活をイメージするとともに、できることから備えていきましょう！

令和6年2月改定版はこちらから [静岡県 避難生活の手引き](#) [検索](#)



静岡県地震防災センターで防災について学ぼう!

静岡県地震防災センター 事前予約制

静岡市葵区駒形通5-9-1 ☎054(251)7100 休館日:月曜日、年末年始

起震装置で地震を体感し、建物の耐震化や家具の固定などの地震から身を守る備えの大切さを学ぼう!



必要な備蓄品の確認や、段ボールベッドなどを利用した避難生活を体験しよう!



静岡県 地震防災センター 検索



地震防災センターに来られない人はデジタル地震防災センターを体験してみよう!

館内見学ツアー

津波VR体験



スマホやパソコンから、いつでもどこでも3D映像による館内見学やVR映像による災害疑似体験ができます。

静岡県 デジタル地震防災センター 検索



静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」を使ってみよう

「静岡県防災」には、緊急防災情報の受信、ハザードマップの確認、避難トレーニングなどさまざまな機能が備わっています。ぜひダウンロードして使ってみましょう!

静岡県 防災アプリ 検索



ハザードマップの確認



地震(揺れ)、津波、洪水、土砂災害、火山(富士山)のハザードマップをスマホから手軽に確認できます。

「ハザードマップ」で、身の回りの災害リスクを確認しよう!

避難トレーニング



個人や家族で避難訓練を実践し、避難先までの経路や所要時間を確認しましょう。

「避難トレーニング」を使って津波避難訓練をやってみよう!

国土地理院標準地図を加工して作成

令和4年9月台風第15号を経験して

自主防災組織は「共助」の要

令和4年9月の台風第15号は、県内に大きな被害をもたらしました。被害のあった地域の約6割の組織が安否確認や給水活動などの災害対応を行いました。大規模災害時に、全ての組織が活動できるよう、「地域防災活動マニュアル」を活用し、訓練などを実施しましょう。



静岡県 地域防災活動マニュアル 検索



子どもたちは家庭の防災リーダー

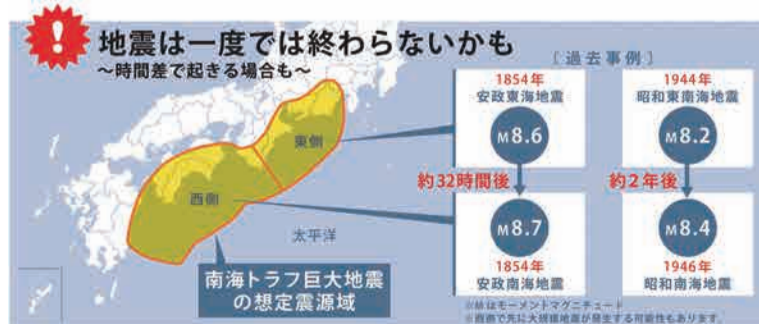
小学4年生から高校3年生を対象に「静岡県ふじのくにジュニア防災士」養成講座を実施しています。受講した児童・生徒は今回の台風を経験し、災害に対する備えの決意を新たにしています。一緒に家庭内防災対策を実施しましょう。

ふじのくにジュニア防災士 検索



「南海トラフ地震臨時情報」をご存じですか?

過去には、南海トラフの東側と西側で大規模地震が時間差で起きた事例があります。南海トラフの東西いずれかの地域でマグニチュード6.8以上の地震が起きた場合など、今後の地震に注意が必要と判断される場合には、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表されます。「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合には、津波浸水想定区域の住民に対し、1週間の浸水区域外への事前避難が呼びかけられることがあります。



内閣府 南海トラフ地震臨時情報 検索

